

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	日本共産党 高田浩子
視察・研修名	適正な議員報酬の決定手法を考える
視察・研修の 目的	適正な議員報酬について学び活動に役立てる
目 時	令和7年5月13日
視察研修の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ○議員報酬の法的根拠 地方自治法203条 地方自治法204条の2 ○横並び 議会議員の活動状況(わかりにくい) ○通年会期制を取り入れる 災害の場合等 ○物価上昇も加味する ○議員報酬に対する方向性 生活給とすべきか 無報酬にすべきか(昔はなかった・外国は無しもある) イギリス・ドイツ・フランス他 ○特別委員会を設置の取組み 若年層の報酬を上げる 年齢による加算 ○議員報酬の減額 ○成果報酬の減額 ○上げるべきで ○政務活動費を増額すべき 広報費 月5万円は必要ではないか ○町村議員は上げる傾向 ○議員報酬のみはあまり居ない(年金をもらいながらが多い) 町村は農業兼業が多い・高齢化 ○アンケート必要(聞き方、自分に置き換え考えることが必要) ○費用弁償すべき ○年金が存在しない・退職金無し 議員は職業として認識されていない <p style="text-align: center;">議員の質を上げるには、報酬を上げるべきである。</p>

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

<p>会 派 名 (参加者)</p>	<p>日本共産党 高田浩子</p>
<p>視察・研修名</p>	<p>交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資</p>
<p>視察・研修の 目 的</p>	<p>地域交通のありかた n について学び活動に役立てる</p>
<p>目 時</p>	<p>令和7年9月30日</p>
<p>視 察 研 修 の 概 要</p>	<p>○コロナ渦の交通の維持 公共交通や物流については「必要な機能を維持することが求められる」</p> <p>最悪からは脱したが回復しても以前のように戻っていない バス事業者補助 目に見える崩壊は始まっている 目見えない崩壊も始まっている 休止・減便による赤字低減でなく需要の平準化による輸送資源の再配分</p> <p>○交通事業してへの支援と利用促進 コロナ渦の支援(感染防止・事業継続・利用促進補助)</p> <p>○地域公共交通の再構築 地域を守る基盤的サービスである価値を再認識</p> <p>○利便性向上のための戦略的投資 ○連携・協働 交通×教育 授業 交通×介護 ○地域公共交通に対する投資と参画(富山県) ○定額運賃</p> <p>○公的投資による利用増へのアプローチ サービスの向上(路線・便数増) 利便性の向上(定期性・速達性) インセンティブの向上(政策的な割引) 認知の向上(広報・利用案内)</p> <p>○維持のための縮小から積極的投資による公共交通の利用増</p> <p>○助け合う範囲の再構築 お互いの不便を受容し合える範囲＝地域コミュニティ 地域公共交通のトリセツ 地域で考える移動の仕組み</p>